

《木材利用システム研究会》 第9回 総会・講演会・研究発表会のお知らせ

元号が令和に変わりましたが、皆様の平成時代はどの様なものでしたでしょうか。

国内の木材市場の動向をみますと、木材の総需要は平成元年の1億1,599万m³から平成29年には8,185万m³へと30%減少しました。用途別にみると、製材、パルプ、合板はそれぞれ52%、24%、27%減少しており、製材需要の落ち込みが大きくなっています。これには、住宅着工が166万戸から96万戸へと42%も減少したことが影響しています。

一方、国産材供給は、平成元年の3,258万m³（燃材含む）から、平成14年には1,692万m³へとほぼ半減した後、平成29年には2,966万m³へと急回復を遂げています。これによって、木材自給率も、最低値の19%から36%まで上昇しました。しかし、これは丸太価格の低下による価格競争力の向上によるところが大きく、結果として立木代は急減し、森林所有者の林業経営意欲の喪失につながり、皆伐後の再造林放棄の問題が発生しています。

この間、住宅構造材のプレカット率は、7%から92%を超えるまでに上昇するなど、木材の流通構造も大きく変わってきました。以上のような変化は、令和の時代にも継続して起きることが予想されますので、当会では引き続き、木材利用の拡大や林業・林産業の発展に資する活動を行ってまいります。

総会後に行われる研究発表会では、研究助成事業の成果や分科会の概要、さらには応募いただきました会員からの研究発表など、川上から川下まで幅広い分野についてご報告いただきます。また、講演会では、株式会社コメリの捧雄一郎社長をお招きいたします。

木材の加工・流通・利用分野の最新の動向について、ご来場の皆さまとのディスカッションを通じて、産官学の相互理解を深め、様々な協働の可能性を模索できればと願っております。大学や研究機関の専門家に加え、木材の加工・流通・利用分野で幅広く活動されている実務者や行政関係者の方々に是非ともご参加いただきたくお願い申し上げます。

～ 記 ～

□日 時：2019年9月12日（木）13時00分～18時00分（30分前から受付開始します。）

□会 場：弥生講堂一条ホール（東京大学農学部キャンパス）

□参加費：会員 無料（2019年度の会費をお支払い頂いた会員に限ります）

非会員 5,000円

※ 事前に参加費をお支払い戴くことで、2019年度の会員登録が可能です。

※ 木材利用システム研究会の会計年度は、9月～翌8月です。

※ 会員登録は、本会ホームページ（<https://www.woodforum.jp/entry.html>）よりお願いいたします。

※ 発表会終了後、情報交換会を予定しています（参加費5,000円）

□申込方法：本会ホームページ（<https://www.woodforum.jp/>）からお申込ください。

□申込期限：2019年8月30日（金）

□申込先：木材利用システム研究会事務局（お問合わせはメールにてお願いいたします）

東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材料設計学研究室

Mail: info@woodforum.jp Tel: 03-5841-7506 Fax: 03-5841-0915

□振込口座：みずほ銀行 根津支店（235） 普通口座：1127263

木材利用システム研究会（モクザイリヨウシステムケンキュウカイ）

※ 情報交換会のお申し込みにつきましては、人数把握と会場準備の都合上、申込期限日までにお知らせ下さい。当日のキャンセルはご遠慮いただきますよう、ご協力お願い致します。

～ プログラム ～

《総 会》13時00分～13時30分（会場：弥生講堂一条ホール）

《研究発表会》13時40分～16時30分（ 同上 ）

《講演会》16時40分～17時40分（ 同上 ）捧 雄一郎 氏（株）コメリ代表取締役社長

《情報交換会》18時00分～19時30分（会場：弥生講堂アネックス）

※プログラムの順番、時間は変更の可能性があります。

以上